

## 編集後記

本号は、三つの文章を掲載することができました。内田論文は、本会の「県史を学ぶ会―明治・大正編」で学習している地方改良運動について、神奈川県内の事例をとりあげて、従来の地方改良運動に対する理解に対し再検討を迫るものです。ことに本会の学習例会でも何回となく問題とされてきた郡および郡長の、地方改良運動における役割と機能についてまとめられたものです。郡制施行以後、郡長の地域における役割が小さくないということはこれまで知られていましたが、地方改良運動において郡長が具体的にどのような郡政を指導したのかという問題については、明らかにされていませんでした。本論文は、神奈川の地方改良運動研究において大きな一石になるとともに、郡長というポストの意味を改めて確認することができたものだと思います。

大湖論文は、本会発足当初学習した真土事件について、あらためて事実関係から再検討したものです。この真土事件の学習は、本会にとっては、『神奈川県史』を中心とする史料の音読、研究史の整理、その上で現地を歩いてみる、という基本的な学習方法を形づくった記念碑的なものです。ただその時の学習成果が十分にまとめられていないということが唯一の問題点でした。これは一貫して本会の宿題となっていたものです。もちろんこの間にも鶴巻孝雄氏をはじめ当該問題の研究は進んでいます。新しい研究をも踏まえた大湖論文は、かつての本会の学習成果を、もう一度考え直してみる契機にもなると思います。

青山論文は、昨年の本会大会で発表され、『京浜歴科研会報』第一〇六号に掲載されたものを改訂したものです。

最後に本会事務局、奥田晴樹氏が山川出版社より著書『地租改正と地方制度』を上梓されました。心よりお祝い申し上げます。

(植山 淳)

### 京浜歴科研年報 第八号

発行日 一九九四年一月三〇日

編集・発行

京浜歴史科学研究会

〒233 横浜市港南区港南台二―一九―四〇七

奥田晴樹方 ☎〇四五―八三一―五二七七

(郵便振替口座 横浜七―一五五三五)

印刷 合資会社 横浜 大気堂

横浜市中区真砂町四―四〇